

#### IV インフルエンザ様疾患病原体サーベイランス及び急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランス

2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行されたことに併せて、2022年9月から開始した「インフルエンザ様疾患病原体サーベイランス」を「急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランス」に変更し、対象とする検体を「症状などから臨床的に急性呼吸器感染症（COVID-19、インフルエンザ以外を含む）が疑われ、感冒様症状（発熱（37.5℃以上）、咳、鼻閉、鼻汁、咽頭痛など（いずれか1つ以上））もしくは肺炎所見（胸部画像検査上、肺炎（疑い）所見（+））を呈した患者の検体」とし、サーベイランスの対象を拡大した。

3,176検体が採取され、新型コロナウイルスは1,034件検出された。インフルエンザウイルスの検出は、AH3亜型が582件、AH1pdm09亜型が199件、A型（亜型不明）が3件、B型が21件であった。なお、当サーベイランスを対象に採取された検体のうち、インフルエンザの感染が疑われる検体に対しては「II-7 定点把握対象疾患の病原体検出情報 1)インフルエンザ」の検出状況においても重複して集計している。新型コロナウイルス及びインフルエンザウイルスいずれも不検出だった検体については、その他の病原体遺伝子検索を行った。その結果、ライノウイルスが最も多く検出され、次いでヒトメタニューモウイルス、RSウイルスと続き、様々な病原体が検出された。（表IV-1-1）。

表IV-1-1 インフルエンザ様疾患病原体サーベイランス  
及び急性呼吸器感染症（病原体）サーベイランス ウイルス検出状況（2023年）

臨床診断名	採取月	採取月												累計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
検体数		86	85	84	51	85	344	477	417	416	459	368	304	3176
新型コロナウイルス		21	19	16	14	40	143	215	198	183	73	55	57	1034
インフルエンザ AH1pdm09					1	7	3	5	9	22	67	45	40	199
インフルエンザ AH3		48	48	40	20	7	15	13	17	68	121	107	78	582
インフルエンザ A								1			1		1	3
インフルエンザ B		1	2	7	2	2				1		2	4	21
ヒトメタニューモ				1	1	12	55	42	29	23	11	6	6	180
RS		1		4	1	3	32	48	23	6	4	5	7	134
コロナ HKU1		4	3	2			1							10
コロナ NL63			1	1			2			2				6
コロナ OC43			1		2	2	3	1	2	2	5	15	20	53
コロナ 229E											1		1	2
パレコ							3	12	6	3	3	3	1	31
ライノ			2	4	2	5	22	28	34	36	59	47	16	255
ボカ			1				24	29	15	7	2	2		80
パラインフルエンザ 1									2	11	4	8	6	1
パラインフルエンザ 2														1
パラインフルエンザ 3				1	1	6	28	17	3	3	1			60
パラインフルエンザ 4						1	12	27	5					45
エンテロ							7	10	4	11	5	2	2	41
アデノ		1		1			5	10	10	8	14	21	17	87
マイコプラズマ										1	2	2		5

#### V 感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点把握対象）

2023年の埼玉県における発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状または神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものの届出はなかった。